

青少年もがみ

第25号 平成29年2月1日
— 発行 —
最上地区青少年育成連絡協議会



提言

『地域を知る』ことから 『人づくり』へと繋がる

舟形町青少年育成町民会議会長 伊藤 清紀

舟形町の青少年育成町民会議の会長を仰せつかっております舟形町連合町内会長の伊藤と申します。町内会長として日頃心がけていること、感じていること等を記してみたいと思いますので、ご勘弁願いたいと存じます。

当町の教育目標に、「地域に育ち、地域を育てる町民の育成」とあります。この事においては、青少年育成には、地域のかかわりが最も重要性があることを示唆しておるものと理解しております。例年開催している青少年育成町民会議では、地域との連携の重要性から、小学校PTA連絡協議会と合同研修会を開催し、講話の後に情報交換を行い意義ある研

修会を実施しておるところであります。

私は、子ども達の育ちの環境は「家庭」であり、そして「地域社会」が最も肝心であると申し上げております。町内会の各種事業への参加者に対しても、自分達の住んでいる地域の良し悪しをよく知り、その良さを確認しあい、皆で作りに上げていこうと言う合言葉の元に参加して頂いております。身近なことから多岐に亘り繋がっていくことにより、仲間づくりにもなり、人づくりとなり、最後は自分づくりになるとの認識の基に、日頃の生活の中で心がけていくことが、青少年の健全育成にも繋がっていくものではなかろうかと思うのであります。

平成28年度 主な事業の報告

※青少年もがみ第24号掲載以降

1 “いじめ・非行をなくそう” やまがた県民運動標語 最上地区優秀作品選考 【9月23日(金)最上総合支庁】

最上管内の全小・中学校から、合わせて4,087点の応募がありました。選考の結果、次の作品が最優秀・優秀に選ばれました。

- ◇最優秀「『ありがとう』 魔法の言葉で みな笑顔!!」
金山町立金山中学校2年 長倉 心さん
- ◇優 秀「さようなら いじめのばいきん あらおうよ」
舟形町立舟形小学校1年 佐藤 唯愛さん
「いっしょにあそぼ なかまはずれは ぼくきらい」
鮭川村立鮭川小学校2年 佐藤 陸斗さん
「やめようよ 言える勇気に 金メダル」
最上町立大堀小学校4年 相馬 葵さん

2 最上地区青少年育成推進員研修会

青少年育成推進員の一層の資質の向上と、相互の交流を深めるため、10月22日に最上町中央公民館で開催しました。

◇推進員の永年表彰

(最上総合支庁長名)

- ・新庄市：京野 秀明氏
- ・新庄市：小野 広美氏
- ・舟形町：沼澤 啓氏
- ・戸沢村：荒川 精治氏
- ・戸沢村：安食 信和氏



◇講話 「青少年の育成と町づくり」

講師 最上町長 高橋 重美氏

◇今年度の青少年育成活動について報告

3 創立50周年記念 山形県青少年健全育成県民大会 【11月6日(日) 12:30～ 山形市中央公民館】

○参加者 青少年育成関係者等 463名

○山形県青少年育成県民会議表彰

最上管内からは、次の4個人が表彰されました。

(青少年育成功労者)

- ・金山町：柴田 純一氏
 - ・舟形町：沼澤 啓氏
 - ・戸沢村：矢口 信一氏
 - ・戸沢村：加藤 久和氏
- ※長倉心さん(金山中)も優秀標語作者として表彰

○「社会力育てがいじめ根絶と学力向上の基」という演題で門脇厚司氏(筑波大学名誉教授)の基調提案の後、「いじめの未然防止を子どもの社会力育成の視点から考える」をテーマにパネルディスカッションが行われました。

【門脇先生の講演要旨】

社会力とは、簡潔に言えば、人が人をつながり社会をつくる力のことです。そのためには、自分以外の人のことをあたかも自分のことのように理解できる能力を身につける必要があります。他の人を自分のことのように理解できるということは、他の人の気持ちや考えていることを手に取るようにわかるようになるということです。このような極めて高度な能力を高めることが、結果として、いじめをなくすことになり、学習能力を高めることになります。

